

「解答」・「解答例」

選抜区分	2025年度（選抜区分：学校推薦型選抜） 法学部 法律学科及び政策科学科（科目名：小論文）
問題1 標準的な解答例 今日の女性の労働をめぐる状況を見ると、一方では女性が能力を発揮し、活躍することが推奨され、他方ではシングルマザーや単身女性の貧困や低賃金が社会問題化されている。具体的には、女性の活躍が政府によって推進され、女性が能力を発揮し、ひいては経済成長への貢献が期待されているのに対して、家事労働などがある故に賃労働に多くの時間を割けない女性のための社会保障などに関しては、それを充実させる動きはないことである。1980年代以降、多くの現代福祉国家において、公的支出の削減のために規制緩和や分権化により公的サービスの民営化が行われ、貧困は自己責任、個人の能力の問題へとすり替えられていった。女性が能力を発揮して活躍すべきという主張は、女性が直面している構造的問題を個人の能力に還元してしまうという意味で、ネオリベリズムの教義と類似する。こうして生まれたのが、女性活躍を推進し、女性の貧困を不可視化するという「いびつな態度」である。 問題2 出題の意図 別紙	